

◇ 沼津市若山牧水記念館 ◇

古楽コンサートシリーズ41

サクバットとチェンバロのタベ

2023 11/25 土

6:45pm 開演

6:15 開場



♪ 曲目 ♪

カンツォン第2番：G.フレスコバルディ

「笛の楽園」より：J.ファン・エイク

ソナタ TWV41:1f：G.P.テレマン

麗しかな わがいとしきものよ：F.ロニョーニ

組曲第10番：J.J.フローベルガー

ほか

野村美樹(サクバット)

静岡県富士市出身。愛知県立芸術大学音楽学部をトロンボーンで卒業。フランス国立ペルピニャン音楽院をトロンボーンと室内楽で満場一致の金メダルで卒業。

トロンボーンを吉川武典、藤澤伸行、Marc GADAVE の各氏に、室内楽を安元弘行、武内安幸、Jean-Pierre CENEDESE の各氏に師事。サクバットで古楽演奏法を濱田芳通氏に師事。アントネッロの公演に出演。

シンフォニエッタ静岡トロンボーン奏者。
古楽集団 Concerto Pedemontano (コンチェルト・ペデモンターノ)サクバット奏者。

杉山佳代(チェンバロ)

富士市生まれ、幼少より生田流箏曲を森親静氏に師事。東京藝大、同大学院修士、ハーグ王立音楽院各チェンバロ科卒業。

チェンバロ、通奏低音奏法等を山田貢、鈴木雅明、トン・コープマン、多田逸郎の各氏等に師事。安宅賞、第7回古楽コンクール第一位、上原賞、第5回栃木(蔵の街)音楽祭賞、第5回楽友協会クラシックサロン音楽賞受賞。チェンバロファンシアーズを主宰、コンチェルトゼフィロ、コンチェルトペデモンターノ鍵盤奏者、沼津西高芸術科講師、みゆずメゾン所属。



□ 会場 沼津市若山牧水記念館 ラウンジ ㊞あります

□ 入場料 一般---3000円 沼津牧水会会員---2500円 学生---1500円

□ ご予約 お問い合わせ **055-962-0424** 沼津市若山牧水記念館
055-962-1111(丹沢楽器店) 055-975-0207(やまがた楽器店) 055-962-3229(杉山)

【主催】 公益社団法人沼津牧水会

【後援】 沼津市教育委員会 富士市 三島市・三島市教育委員会 長泉町 函南町教育委員会 コンチェルトゼフィロ

演奏の様子



◇沼津市若山牧水記念館◇

古楽コンサートシリーズ41

サクバットとチェンバロの夕べ

2023年11月25日(土) 18:45開演
沼津市若山牧水記念館ラウンジにて

【主催】 公益社団法人沼津牧水会
【後援】 沼津市教育委員会 富士市 三島市・三島市教育委員会 長泉町
函南町教育委員会 コンチェルトゼフィロ

♫ ♫ ♫ ♫ プログラム ♫ ♫ ♫ ♫

1. Canzon Seconda "La Bernardina" / Girolamo Frescobaldi (1583-1643)
カンツォン 第2番 "ベルナルディーナ" / G. フレスコバルディ

ルネサンスから独唱中心のバロックへとイタリア音楽に新たな息吹がもたらされつつあった17世紀初頭に、フレスコバルディはローマ教皇庁のオルガン奏者として活躍し、鍵盤作品の傑作を連発した。この曲は1628年出版の《いかなる楽器によっても演奏可能なカンツォーナ集 第1巻》に収録されている。

2. Pulchra es amica mea / Francesco Rognoni=Taeggio (1570 頃-1626 以後)
美しい私の愛しい人 / F. ロニョーニニタエグジョ

高名な音楽一家に生まれたロニョーニはミラノを本拠に活躍したヴァイオリン奏者、フルート奏者。この曲はパレストリーナのモテットを原曲にロニョーニがディミニュション(旋律の音符を細かくして華やかに装飾していく旋律変奏法の一つ)を施したもの。

3. Suite No.10 / Johann Jacob Froberger (1616-1667)
組曲 第10番 / J.J. フローベルガー

バロック初期のドイツの作曲家。チェンバロとオルガンの名手でもあった。アルマンド、クーラント、サラバンド、ジークの4つの舞曲から構成される。当時ジークはクーラントの前後に置かれることが多かったが、後の出版では曲の最後に配置された。

4. Sonata TWV41:f1 / Georg Philipp Telemann (1681-1767)
ソナタ / G.P. テレマン

バロック後期のドイツの作曲家。生前はヘンデル、バッハを凌ぐ名声を保った。音楽史上最も多作な作曲家として知られ、紛失・未発見の曲を含めるとその数は4000とも5000とも言われている。

♫ ♫ ♫ ♫ 休憩 ♫ ♫ ♫ ♫

5. Malle Symen / Jacob van Eyck (1589/90-1657)
気狂いシメン / J. ファン エイク

生まれつき盲目のファン エイクはオランダのカリオン奏者であり、リコーダーもかなりの腕前だった。この曲が収められている《笛の楽園》はリコーダーのために書かれた150曲ほどの曲集で、当時の流行歌、舞曲、賛美歌などが収録されている。この曲の原作者は不明、歌詞も失われているため、なぜこのタイトルがついているのかわかっていない。

6. Doen Daphne d'over schoone Maeght / Jacob van Eyck (1589/90-1657)
美しい娘 ダフネ / J. ファン エイク

《笛の楽園》からの1曲。原題は「ダフネがアポロから逃げるとき」。ダフネがアポロの愛を頑なに拒絶し追われて逃げた末、月桂樹の木になってしまうという神話を歌にしたもの。

7. Greensleeves / English folk song
グリーンズリーブス / イングランド民謡

起源は厳密にはわかっていないが1500年代中頃には生まれ、17世紀には誰もが知っている曲となった。16世紀中ごろまで口頭伝承で受け継がれたため、歌詞や旋律には様々なバージョンが存在する。歌詞はいくつかの解釈が飛び交うが、失恋の歌である。

8. Les Moissonneurs, Les Baricades Mistérieuses, Le Moucheron,
Les Abeilles, La Bandoline, La Diligente / François Couperin (1667-1733)
借り入れをする人々、神秘的な障壁、羽虫、
はちみつ、髪的光沢材、勤勉 / F. クーペラン
フランスの作曲家。本日は、複数の組曲から描写的な表題を持つ曲を選んだ。

9. この道 / 作曲 山田耕柁 (1886-1965)、作詞 北原白秋 (1885-1942)
大正後期、それまでのわらべうたや唱歌とは目的を異にする、真に子どもたちのための、子どもが親しみやすく、かつ芸術性の高い歌を作ろうという文学運動が起き、童謡が多数生まれた。中でも山田耕柁と北原白秋のコンビは多くの曲を手掛け、童謡の黄金時代を築いた。

作曲の際に言葉のアクセントを大切に山田耕柁は、歌詞を語るように歌わせるため拍子を自在に変えながらこの曲を作曲した。

10. 浜千鳥 / 作曲 弘田龍太郎 (1892-1952)、作詞 鹿島鳴秋 (1891-1954)

1920年発表。歌詞は鹿島鳴秋が新潟を訪れた際、海岸を散歩しているときに手帳に書き記したものの、親を探す千鳥が歌われているが、幼くして両親と生き別れになってしまった鳴秋の実体験が反映されている。

b ♫ 演奏者 ♫ b

サクバット 野村美樹

富士市出身。愛知県立芸術大学音楽学部をトロンボーンで卒業。フランス国立ベルビニャン音楽院をトロンボーンと室内楽で満場一致の金メダルで卒業。トロンボーンを吉川武典、藤澤伸行、Marc GADAVEの各氏に、室内楽を安元弘行、武内安幸、Jean-Pierre CENEDESEの各氏に師事。サクバットで古楽演奏法を濱田芳通氏に師事。アントネッロの公演に出演。シンフォニエッタ静岡トロンボーン奏者。

チェンバロ 杉山佳代

富士市生まれ、沼津市在住。幼少より生田流箏曲を森親耕氏に師事。東京藝大、同大学院修士、ハーグ王立音楽院各チェンバロ科卒業。チェンバロ、通奏低音奏法等を山田貢、鈴木雅明、トン・コーブマン、多田逸郎の各氏等に師事。安宅賞、上原賞、第5回榊木(蔵の街)音楽祭賞等受賞。チェンバロファンシアーズを主宰、コンチェルトゼフィロ鍵盤奏者、沼津西高芸術科講師、みゆずメゾン所属。

